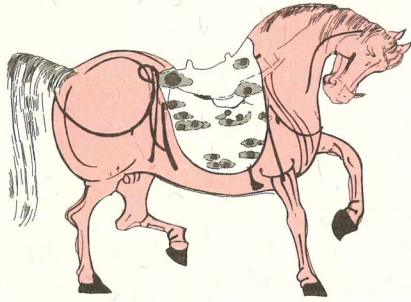


1989年度

平城宮跡発掘調査部  
発掘調査概報



1990

奈良国立文化財研究所

## 凡 例

1. 本書は、奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部が、1989年度に実施した平城宮跡および平城京内遺跡の発掘調査の概要報告である。各調査報告の執筆は、各現場の発掘担当者などが行った。なお、写真撮影は佃幹雄と牛嶋茂が行った。
2. 第193次F区、第198次、第200次補足、第204次調査、および第208次調査については本書に概要を収録したが、別途報告書が刊行される予定で、詳細はそれによらねたい。
3. 調査遺構図に付した座標値などについての詳細は本文「I 平城宮・京の発掘調査地区割り」を参照されたい。
4. 遺構図には、遺構ごとに一連の番号を付け、番号の前に、SA（築地・塀）、SB（建物）、SC（廊）、SD（溝・濠）、SE（井戸）、SF（道路）、SK（土坑）、SS（足場）、SX（その他）などの分類記号を付した。なお遺構番号のなかには仮番号で示したものを含んでいる。
5. 平城宮出土軒瓦・土器の編年は次のように表わす（カッコ内は西暦による略年代）。平城京内についてもこれを準用した。

軒瓦；平城宮出土軒瓦編年第Ⅰ期（708～721）、第Ⅱ期（721～745）  
第Ⅲ期（745～757）、第Ⅳ期（757～770）、第Ⅴ期（770～784）  
土器；平城宮土器Ⅰ（710）、Ⅱ（725）、Ⅲ（750）、Ⅳ（765）、Ⅴ（780）、  
Ⅵ（800）、Ⅶ（825）

なお、本文中の軒瓦編年の細分などについては別途刊行される予定の「平城宮跡発掘調査報告」XIIIの軒瓦編年に基づくものである。
6. 本文未収録調査については、巻末「その他の発掘調査一覧」を参照されたい。

## 目 次

I	平城宮・京の発掘調査地区割り	2
II	平城宮の調査	
1	朱雀門の調査(1) 第201次	8
2	朱雀門の調査(2) 第211次	10
3	第二次朝堂院東第三堂・東門の調査 第203次	17
4	兵部省の調査 第206次	25
5	宮北面大垣推定地の調査 第202－8次	34
III	平城京・京内寺院の調査	
1	左京二条二坊五坪と二条大路の調査 第198次B・C区・200次補足・204次	37
2	左京二条二坊五坪東辺の調査 第202－13次	61
3	左京二条二坊五坪北辺の調査 第202－9次	64
4	左京三条二坊八坪の調査 第193次F区	67
5	左京三条二坊六坪の調査 第202－5次	68
6	右京三条一坊十五坪の調査 第202－3・4次	71
7	右京三条一坊九坪の調査 第202－11次	76
8	薬師寺東面回廊の調査 第207次	78
9	西大寺境内の調査 第208次	97
10	西隆寺旧境内の調査(1) 第209次	100
11	西隆寺旧境内の調査(2) 第210次	106
12	法華寺旧境内の調査 第202－12次	109
13	東大寺南大門の調査 第202－16次	110

### その他の発掘調査一覧

写 真	1	第211次	朱雀門の遺構全景(1)
	2	第211次	朱雀門の遺構全景(2)
	3	第203次	第二次朝堂院東第三堂の遺構全景
	4	第206次	兵部省の遺構全景
	5	第198次B区	SD5240出土の瑞雲双鸞八花鏡
	6	第204次	SD5300出土の絵馬
	7	第204次	SD5300出土の楼閣山水図板絵習書
	8	写真7	楼閣山水図部分の拡大
	9	第193次B区	SD5100出土の七言絶句の木簡
	10	第207次	薬師寺東面回廊の遺構全景
	11	第209次	西隆寺東面回廊の遺構全景

(表紙カットは第204次出土絵馬から)

1989 平城宮跡発掘調査部発掘調査概報  
年 度

1990.6

奈良国立文化財研究所